事業所名	土浦市療育支援センター幼児ことばの教室	支援プログラム	作成日	令和７ 年	３ 月	１ 日

事業所理念		～常にこどもの視点に立ち、こどもの最善の利益を一に考え支援します～ ・障害のあるこども本人の最善の利益の保証　　・障害の種別にかかわらず、こども本人の意思を尊重し、こども本人の最善の利益を考慮する ・地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進と合理的配慮　　・家族支援の重視 ・障害のあるこどもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を子育て支援において推進するための後方支援としての専門的役割		
支援方針		・個別支援計画の作成　　・保護者に向けたサービス提供内容のわかりやすい説明 ・利用児と保護者の状況やその置かれた環境に応じた効果的な支援の実施(集団指導・日常生活指導・個別指導・相談及び助言等) ・利用児の心身の特性に応じたサービスの提供		
開所時間		8時30分～17時15分　サービス提供時間9時15分～16時00分 土日祝及び年末年始閉所	送迎実施の有無	なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	自発的に挨拶できるようになることや、廊下や室内を走らない等公共の場での適切なふるまいを覚えられるよう、練習する機会を作ります。		
	運動・感覚	手先を使った制作等の活動や運筆課題に取り組んだり、色々な動きにチャレンジしながら体を動かしたりする機会を作り、手先や体をコントロールする練習の機会を作ります。		
	認知・行動	ひも通しや積み木構成等を見本通りに構成したり、色や大小の概念を学ぶ機会を作ります。年長児は、就学に向けて読み書きできる文字を増やしたり、数の概念を学習する機会を作ります。		
	言語 コミュニケーション	困ったときに、言葉やジェスチャーで助けを求める練習をします。語彙を増やし、質問に適切に答えたり絵カード等を見て状況や場面を適切に説明する練習をします。また、課題を注意深く聞き、正しく答える練習をする機会を作ります。		
	人間関係 社会性	気持ちをコントロールして苦手な課題に取り組んだり、集中して課題に取り組む時間を伸ばす練習をします。友達との適切なやりとりができることを目指しながら、ちょうどよい声の大きさで話をしたり、ルールを守ってゲームに参加する練習をします。		
家族支援		指導後や、必要時に保護者の方との面談時間を設けています。	移行支援	保護者が希望する際には、就学先の小学校に「指導経過報告書」を送り、必要時にはやり取りを行っています。
地域支援・地域連携		通所先の園を訪問し、集団の中で過ごすこどもの様子を観察したり、園と情報交換を行ったりします。	職員の質の向上	療育支援センター主催や地域の療育施設主催等の研修を受ける機会を設けています。
主な行事等		グループ指導（年長・５月～・月１回）/集団指導（年長・９月～・月１回）		